

「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」 合併号 37, 38

発行：「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」 広報委員会
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階
TEL 03(3504)9800 FAX 03(5157)3180
E-Mail csm-hq@eco-texj.co.jp
HP : <http://www.eco-texj.co.jp>

2008年
6月4日発行

初夏の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

研究フォーラム・ニュース 37、38 合併号を配信させていただきます。

なお、末尾に7月10日木曜・第33フォーラムセミナーご案内も掲載しておりますのでご一読ください。

1. 4月16日第6回「CSR&コンプライアンス国際フォーラム 2008」開催されました。

テーマは「グローバル・サプライチェーンに対応する CSR 調達戦略」とし 110名を超える皆様にご参加いただきました。



岡本会長の挨拶の後、

3Pコンソーシアム・ボイト代表からイスのチョコレートメーカー製品への有害物質の混入とその原因究明を事例にあげ、サプライチェーン上のチェックシステムの必要性について話がありました。



続いて、サプライマネジメント協会 TM 理事長・上原修代表から調達・購買における日本と欧米企業位置づけの違いについて調査結果を基に説明されました。



イオン(株)・西面和巳事務局長はイオンが 2003 年から CoC 取引行動規範導入した経過と現状と、その国際社会活動参加の状況とその意義について話されました。



エドワイン・小林専務は CSR 調達を妨げる要因は何か、今 CSR 調達体制を確立するために取り組むべき課題は何かなど具体例をあげながら講演いただきました。



3 時間半のフォーラム講演の後も、多くの皆様の参加を得て、別会場にて清水二郎特別顧問の乾杯の音頭により懇親会が始まり、参加者相互の情報交換が活発に行われました。



(事務局：本年度 6 回目になりました国際フォーラムも無事実行することが出来ました。これも多くの皆様のご協力によるものと感謝しております。)

2. 5月22日木曜には定例の第3回標準研究フォーラムが開催されました。

- ① 清水二郎特別顧問から国際アパレルマシーンショー（5月13～16日）／シンガポール・エキスポでのテーマゾーン／マッケンティング・ソリューションでの「企業の社会的責任」と同会場内で同時開催され国際シンポジウムでのCSR関連講演について特別講義をいただきました。



企業の社会的責任とCSR課題は、ショー主催者の日本縫製機械工業会（JASMA）から清水顧問が会長を勤める日本アパレル工業技術研究会（JATRA）に対し、展示会テーマゾーンでの先端繊維技術展示と共に企画支援を要請されたもので、JATRA会員と当研究フォーラム会員のYKK、オルガン針、日本ダム、エドワイン、東レ各社の皆様の強い協力を得て実現しました。これらの経緯から、清水先生みずから現地へ赴いていただきました。



JASMAが初めての海外展示会を開催したシンガポールのジェオポリティカルな意義と展示会の様子についてお話をいただき、国際シンポジウムでのオットー・グループ・CSR調達部長の講演を通して日本とドイツの企業成立の違いによるCSRの位置づけにも言及されました。

② 事務局からCSR関連情報として

2008年6月1日予備登録が開始されるREACHについて関連情報誌での特集のその後の様子、またパタゴニアと帝人・東レが連携して原材料を含む製品設計段階からの使用済み回収による循環システム確立したことなどの記事内容について掲載誌名とともに報告されました。

③ CSM2000構築「社会的責任分野」について事務局より解説

前回で安全衛生・健康分野について解説を終え、今回からは社会的責任分野の解説が始まりました。

3. 第3回標準研究フォーラム予定のお知らせ

来る 7月10日（木曜）14時より下記の内容予定で開催します。

テーマ予定

- (1) 企業事例 株式会社フクイの事例
「サプライチェーンの上下をつなぐCSR活動」
- (2) CSR関連情報
- (3) 「CSM2000構築のすべて」社会的責任

開催実施のご案内はあらためて6月中旬頃に発信させていただきますが、上記日時をご予定ください。

以上